

上越地区における産業廃棄物最終処分場の整備予定地について

1 経緯

- 新潟県では、上越地区における公共関与による産業廃棄物広域最終処分場について、令和3年3月に候補地検討委員会(令和元年6月設置)において上越市内の5候補地を選定し、令和4年3月に、住民の皆様のご意見も踏まえ、県として柿崎区内の2候補地に絞り込みました。
- 令和4年4月以降、事業主体である(公財)新潟県環境保全事業団とともに、関係町内会への説明会やエコパークいずもぎきの見学会を開催する等、最終処分場の整備や運営にご理解をいただけるよう丁寧な説明に努めてまいりました。
- さらに、候補地域の測量、地表地質や環境の現況調査の結果や、「より長期に安定し県内の産業活動を支える」という最終処分場の重要性について関係町内会からご理解いただいた上で、2候補地をともに整備することとする基本構想を示し、意見交換を重ねてきました。

2 整備予定地について

- 意見交換では、最終処分場の必要性をご理解いただく一方で、長期に渡る環境保全対策や地域振興についてのご意見、ご要望をいただきました。
- 対応として、今後、関係町内会に具体の環境保全対策を示し環境保全協定を締結すること、地域振興については、上越市の協力を得て具体化することを前提に、関係町内会から、環境アセスメント、用地取得等の事業の着手について了解をいただきました。
- 以上の調整状況を踏まえ、基本構想に基づき、柿崎区内2地区を整備予定地とし、順次整備を目指し事業を推進することといたしました。

3 今後の取組

- 今後も、関係町内会のご理解とご協力を賜りながら、事業主体である(公財)新潟県環境保全事業団とともに、安心・安全な施設整備と運営の実現に向け取組を進めてまいります。
- また、事業の推進にあたっては、柿崎区をはじめ多くの県民の皆様や地権者のご理解とご協力が不可欠となります。
引き続き、上越市と連携し、皆様からご理解、ご協力いただけるよう、取組状況の広報、説明に努めてまいります。

上越地区における産業廃棄物最終処分場基本構想

新潟県 環境局

公益財団法人新潟県環境保全事業団

1 基本方針

「エコパークいずもざき」での経験を活かし、公共関与の施設として、県内産業の持続的な発展、産業廃棄物の適正処理及び地域の振興に貢献する安全・安心な施設を目指します。

(1) 安全・安心な施設づくり

- 安全を最優先に、集中豪雨や地震なども考慮した施設設計を行います。
- 大気や水環境の汚染防止はもとより、周辺環境との調和にも努めます。
- 最新の知見や技術も踏まえ、安全性と経済合理性の両立を目指します。

(2) 信頼される維持管理

- 廃棄物の受入審査を徹底し、安全で計画的に埋め立てを行います。
- 地元との環境協定に基づき、浸出水の確実な処理と環境モニタリングを行い、積極的な情報公開に努めます。
- 施設見学を積極的に受け入れるなど開かれた施設となるよう努めます。

(3) 地域への貢献

- 地元からの雇用や調達に配慮します。
- 上越市と連携して地域の振興を支援します。
- 埋立完了後の跡地利用については、地元の意向を十分に考慮します。

2 整備計画

今後の調査・設計や、地元等の意向も踏まえて、具体的な計画を策定します。

(1) 整備・運営主体 公益財団法人 新潟県環境保全事業団

(2) 整備する施設 管理型最終処分場
(埋立地, 浸出水処理施設, 防災調節池, 管理棟など)

(3) 整備目標年次 令和13年度(2031年度)に1地区の供用を開始

(4) 整備予定地 新潟県上越市柿崎区竹鼻地区、下中山地区

(5) 施設の規模

- ・ 竹 鼻地区 敷地面積 約28ha, 埋立面積 約6.7ha, 埋立容量 約140万m³
- ・ 下中山地区 敷地面積 約24ha, 埋立面積 約7.2ha, 埋立容量 約140万m³

3 受入計画

エコパークいずもざきでの実績に基づき、受入量を以下のとおり見込みます。

(1) 取り扱う廃棄物の種類

- ・エコパークいずもざきと同じ種類の廃棄物とする。
- ・新潟県内の事業場で発生したものに限る。
- ・感染性廃棄物、放射性物質及びそれらによって汚染された廃棄物は取り扱わない。

分類	主な品目
産業廃棄物	金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、廃プラスチック類、鋳さい、汚泥、燃え殻、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、がれき類（建設廃材） など
一般廃棄物	焼却残さ、粗大不燃ごみ処理残さ など
災害廃棄物	災害により発生したごみ
その他	浸出水処理に伴う脱水汚泥 など

残さ：溶解、ろ過などの後に残る溶物・残りかす

(2) 年間埋立量（覆土量を含む）

約 7.3 ～ 10 万^m /年

(3) 埋立期間

約 14 ～ 19 年/地区

注）記載内容は、基本構想策定段階のもので、今後の調査・設計などの結果により変更が生じる場合があります。



上越地区産業廃棄物広域最終処分場 施設配置イメージ



位置図



上越地区産業廃棄物最終処分場 予定スケジュール

年度	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)	令和9 (2027)	令和10 (2028)	令和11 (2029)	令和12 (2030)	令和13 (2031)
調査・設計										
現況調査 (地形、地質、環境など)	→									
基本構想	→									
地質ボーリング調査		→								
基本計画・基本設計		→								
環境アセスメント		→	→							
実施設計			→							
用地取得等		→	→	→						
工事										
法令手続きなど			→	→	→					
道路工事 (仮設・本線)				→	→	→	→	→	→	→
処分場工事 {埋立地、浸出水処理施設、 管理施設など}						→	→	→	→	→
開業準備									→	

供用開始(1地区目)